

資料・統計

2001年悪性疾患入院患者統計

Statistics of Inpatients with Malignancy in 2001

新潟県立がんセンター新潟病院
情報調査部 病歴室

2001年の悪性疾患入院患者統計について報告します。

悪性疾患入院患者の基礎資料 (表1)

悪性疾患の新規登録疾患数は1,949 (前年2,038) と前年より減少し、悪性疾患入院患者実数も2,843 (前年2,918) と減少しています。これは退院患者実数が7,864 (同7,970) と減少していることに伴うもので、平均在院日数が21.1日と前年(21.2) とほとんど同じだったことが影響していると思われます。

悪性新生物疾患別数の推移 (表2)

悪性疾患の新規登録疾患数を部位別にみると、胃、317 (前年371)、の減少が目立っていますが、肺、308 (同329)、大腸 (直腸を含む)、201 (同219)、も減少しています。乳房、245 (同244) は横ばい、前立腺、93 (同72) は明らかに増加しています。この胃、肺などの減少傾向は入院患者実数が全体に減少していることによる一時的なものである可能性があります。当院の診療能力が限界に近づいていることを示しているのかもしれませんが。

全疾患に占める悪性新生物比率の年間推移 (表3)

上記のように悪性疾患入院患者実数が減少しているにも関わらず、全疾患の入院患者実数の減少の方がより大きく(2001年: 5,152, 2000年: 5,323)、全

疾患に占める悪性疾患の割合は55.2% (同54.8%) と前年までの増加傾向がそのまま続いています。やはり当院が“がんセンター”として特化しつつある状況がしだいに鮮明になってきています。

診療科別入院患者悪性疾患比 (表4)

科別にみると、小児科、外科、呼吸器外科、放射線科で悪性疾患の割合が多いのはここ数年間不変です。死亡退院数は422 (前年515) と前年に比し大幅に減少しており、悪性疾患死亡退院数も395 (同458) と減少していますが、全死亡に占める割合は93.6% と90% を越えています。また、剖検数は29で2001年は剖検率5%以上を確保しています。

診療科別・在院期間別・性別退院患者数 (表5) および病類別・在院日数別患者数 (表6)

性別退院患者総数では男性3,849 (前年3,929)、女性4,015 (同4,041) と前年と同様に女性が男性の総数より多くなっています。これはやはり乳癌の増加によって外科の女性入院患者数が1,332 (前年1,381) と男性の651を大きく上まわっていることによるものです。

良性疾患患者の平均在院日数は15.3日 (前年16.2日)、悪性疾患患者のそれは23.8日 (前年24.2日) といずれもわずかに短縮しています。

表1 2001年悪性疾患入(退)院患者統計

2001年の悪性疾患入院患者の基礎資料		
1. 2001年の悪性疾患登録患者数 (実数)		1,698
2. 2001年の悪性疾患登録疾患数		1,949
内訳: 本年初登録で単疾患	1,637例,	1,637疾患
本年初登録で複数疾患	61例,	125疾患
既登録で本年初発疾患	181例,	187疾患
3. 2001年の悪性疾患入院患者実数		2,843
'00年以前の登録患者も含む		
4. 2001年の入院加療悪性疾患患者延数		5,374
同一年の再入院も含む		
5. 2001年の総入院患者実数		5,152
6. 2001年の総入院患者延数		7,864

表2 悪性新生物疾患別数の推移 (実数)

部位等 (ICD10)	1999年	2000年	2001年
口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物 (C00~C14)	61(44)	64(37)	63(43)
食道の悪性新生物 (C15)	142(105)	146(100)	128(83)
胃の悪性新生物 (C16)	429(370)	449(371)	403(317)
小腸の悪性新生物 (C17)	5(5)	5(4)	11(8)
結腸の悪性新生物 (C18)	137(117)	170(139)	150(126)
直腸, 直腸 S 状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19~C21)	83(64)	105(80)	95(75)
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	76(45)	83(48)	64(34)
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23, C24)	40(28)	34(25)	43(28)
膵の悪性新生物 (C25)	52(38)	55(40)	53(36)
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26, C48, C45.1)	6(2)	9(3)	8(2)
喉頭の悪性新生物 (C32)	46(26)	47(30)	42(29)
気管, 気管支および肺の悪性新生物 (C33, C34)	465(325)	489(329)	485(308)
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30, C31, C37~C39, C45.0, C45.2)	30(22)	18(15)	19(14)
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40, C41)	14(7)	17(9)	17(8)
皮膚の悪性新生物 (C43, C44, C46)	47(40)	56(48)	56(43)
乳房の悪性新生物 (C50)	285(205)	338(244)	358(245)
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47, C49)	15(10)	29(19)	18(8)
子宮頸の悪性新生物 (C53)	39(21)	40(27)	34(19)
その他子宮の悪性新生物 (C54, C55)	28(19)	27(20)	49(35)
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51, C52, C56~C58)	67(34)	57(29)	58(32)
前立腺の悪性新生物 (C61)	108(75)	108(72)	126(93)
膀胱の悪性新生物 (C67)	119(54)	104(50)	103(66)
腎および腎盂の悪性新生物 (C64, C65)	66(39)	55(39)	64(45)
その他の泌尿生殖器の悪性新生物 (C60, C62, C63, C66, C68)	31(21)	41(30)	35(20)
脳の悪性新生物 (C71)	5(2)	3(2)	6(4)
その他および部位不明の悪性新生物 (C69, C70, C72~C80)	101(75)	111(75)	103(77)
再掲 [甲状腺 (C73)]	78(59)	89(64)	78(60)
白血病 (C91~C95)	86(38)	91(50)	78(39)
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81~C85, C88, C90, C96)	125(68)	135(72)	124(61)
上皮内癌 (D00~D09)	34(33)	32(31)	50(51)
計	2,742(1,932)	2,918(2,038)	2,843(1,949)

() 悪性疾患登録数

表3 悪性新生物の年間推移（実数および比率）

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年
悪性新生物	2,303	2,337	2,535	2,742	2,918	2,843
%	49.21	49.77	50.15	53.22	54.82	55.18
全疾患	4,680	4,696	5,055	5,152	5,323	5,152

表4 診療科別入院患者悪性疾患比（延べ数、重複あり、死亡・剖検は実数）

診療科	悪性疾患患者 (%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
			悪性	総数	悪性	総数
内科	1,527 (66.7)	2,290	189	204	22	23
神経内科	4 (7.4)	54	3	3	-	-
小児科	277 (88.2)	314	4	4	4	4
耳鼻咽喉科	205 (70.0)	293	20	20	-	-
外科	1,837 (92.6)	1,983	94	98	1	1
呼吸器外科	327 (82.8)	395	14	16	-	-
整形外科	124 (26.1)	475	7	8	-	1
心臓血管外科	- (-)	12	-	-	-	-
脳神経外科	67 (59.8)	112	9	14	-	-
麻酔科	1 (33.3)	3	-	-	-	-
眼科	- (-)	153	-	-	-	-
皮膚科	90 (62.9)	143	4	4	-	-
泌尿器科	436 (64.8)	673	27	27	-	-
婦人科	327 (56.7)	577	13	13	-	-
産科	- (-)	229	-	-	-	-
放射線科	152 (96.2)	158	11	11	-	-
合計	5,374 (68.3)	7,864	395	422	27	29

2001年の追跡結果（表7）

過去40年間の悪性疾患登録患者数は38,156例に達し、登録後20年を経過して追跡調査の対象外となった患者も12,378名となっています。

実際の調査では、照会拒否によって直接照会不適とされたものや、直接照会に対して未回答であったために戸籍照会に回ったものは607（前年1,389）と前年に比しかなり減少しています。これは照会拒否の減少（2001年：26、2000年：71）と未回答の減少（2001年：597、2000年：1,356）によるものです。今年からは、追跡調査用の返信用はがきと一緒に、返信内容を隠すことのできるシールを同封し、患者さんのプライバシー保護につとめることでさらに未回答の減少をはかることにしています。個人情報保護条例の制定などに伴い、個人のプライバシー保護の意識がさらに高まってきている社会情勢ですので、今後も患者さんのプライバシー保護には十分留

意した追跡調査を行っていきたいと考えています。

医療を取り巻く状況は社会的にも経済的にも非常に厳しくなっています。そのなかで診療録の持つ医療情報としての重要性はますます大きくなっており、診療録開示の一般化に伴ってその記載内容の適正化も強く求められるようになっていきます。ここ数年の入院期間短縮の結果、入院患者延べ数が増加し、入院診療録の総数も多くなり、その管理や疾患登録が病歴室の業務を圧迫しつつあります。しかし、上記のような状況から今後は単に診療録を管理するだけではなく、その内容の監査と医療情報としてのより有効な活用法について検討する必要があると考えています。

表5 診療科別・在院期間別・性別・退院患者数 (良性悪性疾患)

(2001. 1~12月)

診療科		総数	1~8日	9~15日	16~22日	23~31日	32~61日	62~91日	3月~6月	6月~1年	1年~2年	2年~	平均在院日数
総数	男	3849	971	941	658	452	507	193	121	6	-	-	24
	女	4015	1646	995	478	287	368	136	95	9	1	-	19
内科	男	1425	340	392	198	137	205	80	69	4	-	-	26
	女	865	250	211	110	75	129	49	38	3	-	-	25
神経内科	男	26	5	9	4	4	2	1	1	-	-	-	21
	女	28	7	5	4	3	5	4	-	-	-	-	28
小児科	男	155	67	21	12	24	18	7	6	-	-	-	22
	女	159	68	16	32	19	13	3	7	1	-	-	23
耳鼻咽喉科	男	178	21	55	19	14	33	28	7	1	-	-	34
	女	115	12	62	11	9	11	5	4	1	-	-	25
外科	男	651	101	131	168	131	79	24	16	1	-	-	24
	女	1332	866	206	113	76	49	13	9	-	-	-	10
呼吸器外科	男	248	28	62	100	28	20	6	4	-	-	-	21
	女	147	17	44	67	14	3	2	-	-	-	-	17
整形外科	男	242	31	48	47	45	49	18	4	-	-	-	28
	女	233	19	50	37	32	68	20	7	-	-	-	32
心臓血管外科	男	8	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	12
	女	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8
脳神経外科	男	60	12	8	13	10	11	3	3	-	-	-	28
	女	52	13	8	4	9	13	1	3	-	1	-	35
麻酔科	男	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科	男	57	30	21	4	2	-	-	-	-	-	-	9
	女	96	43	48	2	3	-	-	-	-	-	-	9
皮膚科	男	73	21	36	7	4	4	1	-	-	-	-	13
	女	70	22	33	4	4	4	3	-	-	-	-	15
泌尿器科	男	589	267	135	73	39	51	15	9	-	-	-	16
	女	84	27	19	18	5	8	5	2	-	-	-	22
婦人科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	577	140	255	61	33	37	27	20	4	-	-	22
産科	男	32	30	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	女	197	155	33	4	-	2	3	-	-	-	-	8
放射線科	男	102	13	16	12	14	35	10	2	-	-	-	33
	女	56	5	3	11	5	26	1	5	-	-	-	41

表6 2001年病類別(大分類) 在院日数別患者数

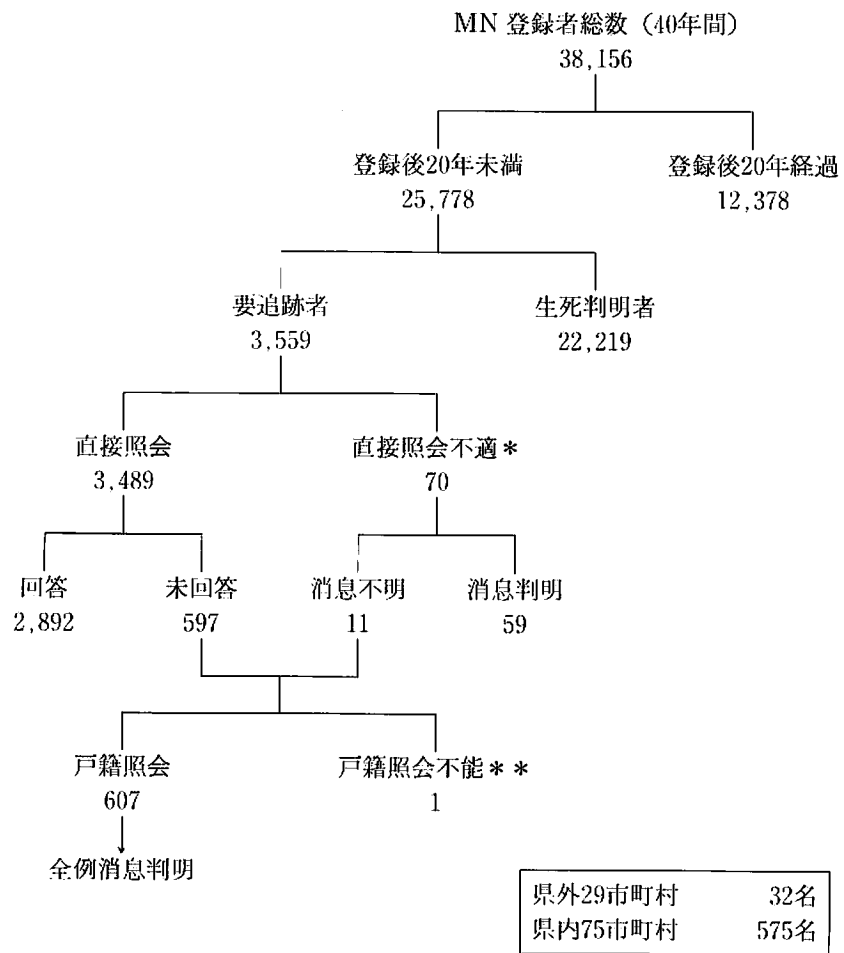
疾病大分類	在院日数											平均在院日数
	計	1~7日	~14日	~1月	~3月	~6月	~9月	~12月	~2年	2年~	2年~	
合計	7,864	2,328	2,033	2,005	1,266	216	11	4	1	-	-	21.0 (165,901)
I 感染症および寄生虫症	45	18	11	11	3	2	-	-	-	-	-	18.6 (841)
II 新生物	5,769	1,559	1,369	1,606	1,025	196	11	3	-	-	-	22.9 (132,442)
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	40	11	12	6	8	3	-	-	-	-	-	27.3 (1,093)
IV 内分泌, 栄養および代謝疾患	81	19	30	28	4	-	-	-	-	-	-	14.1 (1,145)
V 精神および行動の障害	9	1	2	1	3	2	-	-	-	-	-	43.6 (393)
VI 神経系の疾患	26	3	5	10	8	-	-	-	-	-	-	26.5 (691)
VII 眼および付属器の疾患	153	65	78	10	-	-	-	-	-	-	-	9.0 (1,392)
VIII 耳および乳様突起の疾患	4	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	12.5 (50)
IX 循環器系の疾患	225	79	55	50	35	4	-	1	1	-	-	21.2 (4,789)
X 呼吸器系の疾患	188	57	69	47	14	1	-	-	-	-	-	14.4 (2,717)
XI 消化器系の疾患	321	77	120	73	50	1	-	-	-	-	-	16.9 (5,437)
XII 皮膚および皮下組織の疾患	41	9	20	10	2	-	-	-	-	-	-	13.1 (538)
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患	209	19	33	80	76	1	-	-	-	-	-	29.1 (6,096)
XIV 尿路性器系の疾患	310	162	113	28	6	1	-	-	-	-	-	9.2 (2,874)
XV 妊娠, 分娩および産じょく<褥>	174	104	61	4	5	-	-	-	-	-	-	9.0 (1,575)
XVI 周産期に発生した病態	59	54	4	1	-	-	-	-	-	-	-	3.4 (202)
XVII 先天奇形, 変形および染色体異常	11	-	9	2	-	-	-	-	-	-	-	13.1 (145)
XVIII 症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	73	43	17	11	2	-	-	-	-	-	-	8.6 (633)
XIX 損傷, 中毒およびその他の外因の影響	100	26	18	26	25	5	-	-	-	-	-	26.9 (2,699)
XX 傷病および死亡の外因												
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	26	21	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7 (149)

良性平均在院日数15.3(総日数 38,123)

悪性平均在院日数23.8(総日数 127,778)

() 延日数

表7 2001年の追跡結果



*直接照会不適：直接照会拒否例など
 **戸籍照会不能：外国籍女性，外国人登録なし